

■ 支援すればするほど嫌われる人、 支援の仕方を間違っていないですか？

修正： 2024.03.01

投稿： 2024.03.01



●支援すればするほど嫌われる人、

支援の仕方を間違ってはいませんか？①

間違った支援をすればするほど、

支援された人は困っているものです。例えば、

「冷たいお茶が欲しい！」という人に対して、

「熱いお茶」を渡すようなものです。

「喉の渇きが潤ったのだから、感謝しろ！」

と言われて感謝できますか、という話です。

支援した側は感謝を求め、

支援された側は迷惑だとして煙たがる、

支援の仕方を間違えてしまえば、

支援すればするほど、人間関係は冷めていくことになるのです。

ではどう支援すればいいのでしょうか？

まず支援の仕方に注目しなければなりません。

支援の仕方としては、大別して、

「情報提供」と「意思決定」の二種類が考えられます。

「**情報提供**」とは、文字通り、情報を提供することです。

「～な商品がある」とか「～なサービスがある」など、

その人に役立つような**情報を提供すること**です。

対して、「**意思決定**」による支援とは、

「～はした方がいい」とか「～はしない方がいい」など、

相手に**意思決定のアドバイス**をすることです。

ただし、意思決定のアドバイスは、

すればするほど嫌われる傾向があります。

人助けすればするほど**嫌われていく人**は、

この**意思決定のアドバイスが多すぎる**可能性があります。

(続)

//=====//

●支援すればするほど嫌われる人、

支援の仕方を間違ってはいませんか？②

ある店で、腹立たしい経験をしました。
店内を歩いていると、やたらこちらの顔をじろじろと見てきて、
人を馬鹿にしたような笑みを浮かべてくる店員がおり、
「なんなんだ！この店員は！」と内心イライラしたものです。
が、私の誤解でした…。はい。すいませんでした…。

//-----

そんなこんなで、相手との人間関係ができていなければ、
些細なことで喧嘩になってしまいかねないわけですが、
人に対してアドバイスするときも同様です。そもそも、

相手にアドバイスするために何が必要か知っていますか？

アドバイスする人の経験？知識？実力？

いえいえ、アドバイスするにあたって必要なのは、
相手との「信頼関係」です。それもなく
ズカズカとアドバイスすると嫌われます。当然のことです。

特に、アドバイスが的外れな場合は、
「うるせえ！何も知らん奴に言われたくない！」
という話であり、人間関係の悪化は不可避です。

もし相手のことを何も知らない、
というより相手とそもそも仲良くないのであれば、
「意思決定」のアドバイスは控えて、
「情報提供」に徹するべきです。
※ただし、人は、相手と仲が良いと思ひ込みたいため、
相手のことを知らないという事実は受け入れがたい。

情報提供だけに留めておけば、
「役立たずだ！」と思われることはあっても、
感情的に反発されるようなことはありません。

そして、これらは単に「距離感」の問題です。
相手から反発されるのは、相手に近づきすぎたためであり、
相手が「距離を取れ！」と言っているにすぎません。

そのような場合は、**情報提供に徹し、**
相手と「**信頼関係**」を築くことが第一です。

(続)

//=====//

●支援すればするほど嫌われる人、

支援の仕方を間違っはいませんか？③

相手に**意思決定**の面でズカズカと**アドバイス**していると、
アドバイスすればするほど、**人間関係を失う**ことになります。

相手からすれば、相談しても分かってくれない以上に、

上から目線で無意味なアドバイスをされるわけで、
誰がそんな人と仲良くするのか、という話です。

相手のことを**深く**理解できてもない段階で、
相手に意思決定の面でアドバイスすることほど
人間関係を損なうものはありません。

これは、どんなに距離が近くとも、です。
例えば**親子関係**であっても、人間関係は損なわれます。

もし自分の子供が、友達とは永遠に長電話する一方で、
親にはあいさつすらない、というのであれば、
それはすでに関係が損なわれている証拠です。

そうならないようにするために、
意思決定のアドバイスは控え、
情報提供に徹することが望まれます。

相手の知らない情報を提供し、相手の視野を広めることです。
「**そんなことも知らないのか**」などの感情は捨て、
相手にとってプラスとなる情報を提供し続けることです。

ここで**頭の良さ**がキーになります。
というのも、「情報提供」する以上、情報を**収集**し、
その情報を**判断**していかなければなりません。
当然、頭を使います。

もし、相手の求める情報のレベルが、
自分が収集・判断できる情報のレベルを超えていれば、そもそも、
相手に対して自分は**貢献できない**ことを意味しているのです。
寂しさを押し込めて、それを**悟る**ことも大切です。

(完)

//=====//

Web サイト：

心を力学する ー原理・原則に基づく生き方を考えるー

著者：

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)